

## 平成22年2月期 第3四半期決算短信

平成22年1月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社レイ  
 コード番号 4317 URL <http://www.ray.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成22年1月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 分部 至郎  
 (氏名) 中村 準三

TEL 03-5410-3861

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年2月期第3四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第3四半期	5,360	△20.3	64	△81.7	31	△90.5	41	△63.2
21年2月期第3四半期	6,721	△4.6	351	—	332	—	111	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第3四半期	3.15	—
21年2月期第3四半期	8.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第3四半期	4,516	1,672	36.5	126.40
21年2月期	4,818	1,690	34.7	128.66

(参考) 自己資本 22年2月期第3四半期 1,649百万円 21年2月期 1,673百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年2月期	—	0.00	—	—	—
22年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年2月期の期末配当に関しましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	△16.3	100	△70.1	45	△84.8	50	△52.8	3.83

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 1社 (社名 ) 除外 2社 (社名 株式会社プレイズ、株式会社プレント)  
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第3四半期	14,328,976株	21年2月期	14,328,976株
② 期末自己株式数	22年2月期第3四半期	1,279,687株	21年2月期	1,279,687株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第3四半期	13,049,289株	21年2月期第3四半期	13,292,560株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

配当につきましては、当社は、財務状況、配当性向を鑑みながら業績に応じた適正な配分をおこなうことを利益配分の基本方針としております。当社グループの業績に大きな影響を及ぼす広告宣伝市場の事業環境は未だ広告主各社の広告支出への慎重な姿勢は継続しており厳しい経営環境が続いており、イベントや展示会、CM制作業務等において規模縮小や中止にいたる案件が発生する可能性等も否定出来ず、当社グループの業績も流動的な状況にあることから次期配当に関しましては、現時点では引き続き未定とさせていただきます、決定次第、速やかに公表いたします。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年3月1日～平成21年11月30日）におけるわが国の経済は、景気対策の効果により一部には改善の兆しが見られるものの、企業収益の低下、雇用不安、デフレ懸念、個人消費の低迷などは継続しており、先行き不透明な状況で推移いたしております。

当社グループの主要な市場である広告業界においても、広告主各社の広告支出への慎重な姿勢は継続し、月々の広告売上は前年比割れが続く状況にあり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおいては、コスト管理の更なる徹底、経費削減等の施策を継続いたしておりますが、売上が低迷した影響を補うまでには至らず、業績は低調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,360百万円（前年同期比20.3%減）、営業利益は64百万円（同81.7%減）、経常利益は31百万円（同90.5%減）、四半期純利益は41百万円（同63.2%減）となりました。

当社グループの事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

広告ソリューション事業におきましては、SP（セールスプロモーション）・イベント部門は、展示会の規模縮小や中止等の影響により業績は厳しいまま推移いたしました。TVC（テレビコマーシャル）部門は、新規コマーシャル制作案件の減少等の影響により第3四半期会計期間の業績は低調でしたが、第2四半期までは受注が堅調であり、コスト管理の徹底等の施策の効果もあり、順調に推移しております。

この結果、広告ソリューション事業は、売上高2,345百万円、営業利益109百万円となりました。

テクニカルソリューション事業におきましては、映像機器レンタル部門、ポストプロダクション部門ともに、広告費減少が続いている影響から展示会の規模縮小や中止、CM編集業務の減少等により業績は低調に推移いたしました。

この結果、テクニカルソリューション事業は、売上高3,014百万円、営業利益270百万円となりました。

なお、前年同期比につきましては、適用される会計基準が異なるため、参考情報として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.3%減少し、3,480百万円となりました。これは、現金及び預金が205百万円増加し、受取手形が82百万円、売掛金が553百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.8%増加し、1,035百万円となりました。これは、有形固定資産が61百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.3%減少し、4,516百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.4%減少し、2,753百万円となりました。これは、預り金が21百万円増加し、買掛金が149百万円、短期借入金が100百万円、賞与引当金が86百万円、未払金が61百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて324.8%増加し、90百万円となりました。これは、その他固定負債が81百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.1%減少し、2,843百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、1,672百万円となりました。これは、利益剰余金が24百万円減少したこと等によります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて205百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末は、1,395百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は458百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期利益が51百万円、仕入債務の減少額が149百万円、賞与引当金の減少額が86百万円ありましたが、売上債権の減少額が630百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は70百万円となりました。

これは主に、出資金の払込による支出が44百万円、有形固定資産の取得による支出が38百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は181百万円となりました。

これは主に、長短借入金の返済額（純額）が112百万円、配当金の支払額が63百万円あったこと等によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月期の連結業績予想につきましては、平成22年1月12日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社である株式会社プレイズは、連結子会社である株式会社ティーシー・マックスとの合併により消滅しましたので、連結の範囲から除外しております。

また、当第3四半期連結累計期間において、連結子会社である株式会社プレントは、連結子会社であるマックレイ株式会社との合併により消滅しましたので、連結の範囲から除外しております。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産の減価償却については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

##### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度以降に経営環境の著しい変化が認められたため、前連結会計年度末において検討し使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,395,286	1,189,435
受取手形	131,244	213,262
売掛金	1,438,371	1,992,277
たな卸資産	302,997	290,483
繰延税金資産	15,747	12,163
前払費用	76,305	81,711
その他	130,493	68,273
貸倒引当金	△9,656	△8,156
流動資産合計	3,480,789	3,839,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	294,926	289,738
減価償却累計額	△147,005	△136,331
建物及び構築物(純額)	147,921	153,406
機械装置及び運搬具	718,656	699,201
減価償却累計額	△506,424	△455,373
機械装置及び運搬具(純額)	212,231	243,828
工具、器具及び備品	205,490	211,522
減価償却累計額	△168,056	△168,747
工具、器具及び備品(純額)	37,433	42,774
土地	332	332
リース資産	108,656	—
減価償却累計額	△5,059	—
リース資産(純額)	103,596	—
有形固定資産合計	501,515	440,341
無形固定資産		
ソフトウェア	21,962	27,960
その他	7,868	7,879
無形固定資産合計	29,830	35,839
投資その他の資産		
投資有価証券	61,721	70,620
出資金	64,051	37,898
長期貸付金	5,048	5,108
破産更生債権等	83,993	77,910
長期前払費用	46,731	43,618
敷金及び保証金	189,226	190,542
繰延税金資産	141,670	159,178
その他	900	1,150
貸倒引当金	△89,041	△83,218
投資その他の資産合計	504,303	502,810
固定資産合計	1,035,649	978,991
資産合計	4,516,438	4,818,443

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	703,157	852,769
短期借入金	1,600,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	16,664	16,664
未払法人税等	4,856	24,529
賞与引当金	58,124	144,553
未払金	92,969	154,184
未払消費税等	27,292	15,501
未払費用	77,415	73,396
預り金	114,006	92,274
その他	58,939	33,286
流動負債合計	2,753,426	3,107,160
固定負債		
長期借入金	8,340	20,838
その他	81,747	370
固定負債合計	90,087	21,208
負債合計	2,843,514	3,128,369
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	472,806	472,806
利益剰余金	952,610	976,793
自己株式	△245,591	△245,591
株主資本合計	1,650,968	1,675,150
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,485	△1,611
評価・換算差額等合計	△1,485	△1,611
新株予約権	23,441	15,913
少数株主持分	—	621
純資産合計	1,672,924	1,690,074
負債純資産合計	4,516,438	4,818,443

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)
売上高	5,360,052
売上原価	3,785,188
売上総利益	1,574,863
販売費及び一般管理費	1,510,644
営業利益	64,218
営業外収益	
受取利息	30
受取配当金	1,543
未払配当金除斥益	710
その他	1,128
営業外収益合計	3,412
営業外費用	
支払利息	20,363
持分法による投資損失	4,660
その他	10,947
営業外費用合計	35,972
経常利益	31,658
特別利益	
保険解約返戻金	23,036
その他	1,069
特別利益合計	24,105
特別損失	
有形固定資産除却損	2,456
投資有価証券評価損	1,863
特別損失合計	4,320
税金等調整前四半期純利益	51,444
法人税、住民税及び事業税	6,356
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△9,903
法人税等調整額	13,909
法人税等合計	10,362
少数株主利益	17
四半期純利益	41,063

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
売上高	1,826,263
売上原価	1,240,272
売上総利益	585,990
販売費及び一般管理費	476,553
営業利益	109,437
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	35
その他	219
営業外収益合計	254
営業外費用	
支払利息	6,654
貸倒引当金繰入額	3,410
その他	2,913
営業外費用合計	12,978
経常利益	96,713
特別利益	
保険解約返戻金	23,036
その他	416
特別利益合計	23,452
特別損失	
有形固定資産除却損	760
投資有価証券評価損	1,863
特別損失合計	2,624
税金等調整前四半期純利益	117,542
法人税、住民税及び事業税	304
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△9,903
法人税等調整額	28,406
法人税等合計	18,807
四半期純利益	98,734

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	51,444
減価償却費	95,344
長期前払費用償却額	1,876
株式報酬費用	7,528
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,323
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△86,428
受取利息及び受取配当金	△1,573
未払配当金除斥益	△710
支払利息	20,363
持分法による投資損益 (△は益)	4,660
保険解約損益 (△は益)	△23,036
有形固定資産除却損	2,456
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,183
売上債権の増減額 (△は増加)	630,262
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,514
仕入債務の増減額 (△は減少)	△149,612
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△24,221
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△28,092
その他	5,426
<b>小計</b>	<b>503,681</b>
利息及び配当金の受取額	1,573
利息の支払額	△19,866
法人税等の支払額	△82,773
法人税等の還付額	55,425
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>458,040</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△38,370
ソフトウェアの取得による支出	△3,494
出資金の払込による支出	△44,289
出資金の回収による収入	18,136
長期前払費用の取得による支出	△4,989
敷金及び保証金の回収による収入	2,216
その他	△106
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△70,897</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	5,100,000
短期借入金の返済による支出	△5,200,000
リース債務の返済による支出	△5,208
長期借入金の返済による支出	△12,498
配当金の支払額	△63,585
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△181,292</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>205,850</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,189,435
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,395,286</b>

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	689,801	1,136,461	1,826,263	—	1,826,263
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	114	67,966	68,080	(68,080)	—
計	689,915	1,204,428	1,894,343	(68,080)	1,826,263
営業利益	4,164	189,306	193,471	(84,033)	109,437

(注) 1 事業区分の方法

事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,345,581	3,014,470	5,360,052	—	5,360,052
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	364	197,796	198,160	(198,160)	—
計	2,345,945	3,212,267	5,558,213	(198,160)	5,360,052
営業利益	109,746	270,037	379,784	(315,565)	64,218

(注) 1 事業区分の方法

事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

**【所在地別セグメント情報】**

当第3四半期連結会計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

当第3四半期連結会計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

6. その他の情報

【制作、受注及び販売の状況】

(1) 制作実績

当第3四半期連結累計期間における制作実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額(千円)
広告ソリューション事業	1,380,563
テクニカルソリューション事業	2,418,911
合計	3,799,475

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、総製造費用によっております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	受注残高(千円)
広告ソリューション事業	2,840,058	1,335,378
テクニカルソリューション事業	2,971,402	346,546
合計	5,811,461	1,681,924

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)
広告ソリューション事業	2,345,581
テクニカルソリューション事業	3,014,470
合計	5,360,052

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第3四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)
株式会社電通テック	657,766	12.3
株式会社博報堂プロダクツ	596,229	11.1

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年11月30日)

科目	前年同四半期 (平成21年2月期 第3四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	6,721,141
II 売上原価	4,692,015
売上総利益	2,029,125
III 販売費及び一般管理費	1,677,893
営業利益	351,231
IV 営業外収益	37,482
V 営業外費用	55,926
経常利益	332,787
VI 特別利益	721
VII 特別損失	41,724
税金等調整前四半期純利益	291,785
税金費用	180,183
少数株主損失	225
四半期純利益	111,827

(注) 1. 税金費用については年間見積実効税率をもとに算出しております。